

期日指定した会計データの読み込みについて

[有限会社シンシステムデザイン](#)

この処理の目的

他の場所で入力されたデータから**指定した期間のデータのみ**を読み込むことができます。

注意事項

- 指定した期間のすべての部門のデータが取り込まれます。部門の指定は出来ません。
- 実行にあたっては、受け取り側のデータがかわりますので、データのバックアップコピーを必ず取ってから実行してください。
- 同一の読込を複数回実行すると、読込データは重複されますので注意してください。

処理手順

- データパス名が相対パス名で運用されていることを前提に以下の説明をします。読み込みたい「〇〇会計」ソフトのフォルダが USB(F:) メモリーにあるとします。
- 読み込みをする会計ソフトを起動して
仕訳入力 ⇒ 補助作業 ⇒ 「期間指定した伝票読込」に進みます。
「読込先のデータフォルダの指定」と「期間指定」を次の例のようにして実行してください。
注) 〇〇は会計により名称が異なります。

The screenshot shows a dialog box titled "読込先のデータフォルダの指定" (Specify the data folder to be read). It contains a text input field with the path "F:\〇〇会計D2\2015" and a "参照" (Reference) button. Below this, there is a section for "期間指定" (Date specification) with two date pickers: "2016/02/01" and "2016/02/29", separated by a tilde (~). At the bottom, there is an "実行" (Execute) button.

読込が終わったら、伝票入力の画面に入り、伝票の読込が出来ていることを確認してください。

この機能の運用事例

(事例)

会計事務所などにおいて、ユーザー様が入力したデータを期間指定して取り込む。

操作方法

ユーザーから“〇〇会計”のデータフォルダをUSBメモリーまたは電子メールで受取ります。電子メールの場合はデータフォルダ（例 2015 等）を zip ファイルに圧縮してやり取りを行ってください。

受取側の会計ソフトを起動して、

仕訳入力 ⇒ 補助作業 ⇒ 「10. 期間指定した伝票読込」に進みます。

Fドライブに〇〇会計がある場合は、次のように**読込先**を次のようにしていし、また期間指定を 確認して実行してください。

読込先のデータフォルダの指定

F:¥〇〇会計D2¥2015 参照

期間指定

2016/02/01 ~ 2016/02/29

実行

この処理により、この場合は**指定した2月分の伝票**が入ります。

この操作は受取側のデータが変わりますので、必ずバックアップコピーを取ってから実行してください。